

地区別懇談会

本組合の令和3年度地区別懇談会が2月16・18日の2日間、農協2階会議室で開催され、55名の組合員が出席（出席率31・61%）されました。

高橋組合長は開会の挨拶で、「去年は、新型コロナウイルスの感染拡大で、小豆相場の下落や小麦・甜菜・澱粉原料用馬鈴薯など需要が減ったため、今現在、砂糖・澱粉の過剰在庫に苦慮している現状です。また、役員改選に係る検討委員会の答申に対する改正案、金融部事業における状況など説明致しますが、今後における様々な課題については、令和3年度中に策定する第9次中長期計画でしっかりと検討していきたい。」と述べました。

その後、本年の取り組みについて、高橋専務が基本方針を説明したのち、令和2年度の収支見込み、令和3年度の事業計画をそれぞれ担当部長から説明をしました。

質疑応答では、国のコロナ禍における農業支援対策交付金等の状況や長芋新品種に対する動向、農事組合組織運営規程における農事組合長会の今後の予定など、多くの意見が出されました。

最後に、高橋組合長から令和3年度事業遂行にあたって組合員の皆様のご理解とご協力、そして更なる結集をお願いし、2日間の日程を終了しました。



開会の挨拶をする
高橋組合長



営農計画相談

令和3年度における営農計画相談及び免税軽油の受付が農協2階会議室にて1月8日、12～14日の日程で開催されました。

令和3年度にあたって営農の経営指針となる営農計画を提出して頂き、令和3年度の作付計画や収量計画を担当職員と細かく話し合い、経営収支計画を立てていました。



ICT技術研究会 RTK設定説明会

ICT技術研究会における、令和2年度RTK設定説明会が2月10日に農協2階会議室にて開催され、17名の組合員が出席しました。

令和2年度産地生産基盤パワーアップ事業にて新規にGPS自動操舵システムを導入した組合員を対象に、ホクレン帯広支所の職員を講師に招き、ホクレンRTKシステムの概要や利用申込の流れ、設定手続きなどを説明して頂きました。



その後、組合員が持参したスマートフォンやタブレット端末にてアプリのインストール及び設定を行いました。